

# 会派で行う集中質問

(会派質問 通告一覧表)



令和5年6月定例会

周南市議会

# 令和5年第4回周南市議会定例会

## 会派質問通告一覧表

### ◆6月29日（木）

- 1 志高会（240分）…………… 3  
（佐々木照彦、岩田淳司、土屋晴巳、福田健吾、藤井康弘、吉安新太）

### ◆6月30日（金）

- 2 周南市民の会（200分）…………… 4  
（小林雄二、島津幸男、尾崎隆則、田中 昭、友田秀明）  
3 自由民主党周南（200分）…………… 6  
（古谷幸男、田村勇一、有田 力、小林正樹、篠田裕二郎）

### ◆7月3日（月）

- 4 参輝会（160分）…………… 7  
（福田文治、長嶺敏昭、青木義雄、細田憲司）  
5 公明党（160分）…………… 9  
（金子優子、遠藤伸一、江崎加代子、小池一正）

### ◆7月4日（火）

- 6 日本共産党（120分）…………… 11  
（魚永智行、中村富美子、渡辺君枝）  
7 未来ラボ（120分）…………… 12  
（清水芳将、山本真吾、井本義朗）

---

# 1 志高会

## 1 所信表明に対する質問

### 2 一般質問

#### 1 歯と口腔の健康づくりの推進について

(1) 本市は、周南市民の健康を支える歯と口腔に関する条例（以下「歯と口腔に関する条例」という。）を制定している。そこで、以下を問う。

ア 現在の主な取組内容と実績は。

イ コロナ禍による、取組への影響は。

ウ 歯と口腔に関する条例制定後に新たに取組んだことはあるか。

エ 「手に入れよう 長生きチケット 歯みがきで」がテーマであった今年の「歯と口の健康週間」に、本市として取組んだことはあるか。

オ 11月8日は「いい歯の日」として認知されているが、本市として歯科保健啓発活動を行う計画はあるか。

#### 2 もやいネットセンターについて

(1) 本市では、平成25年4月に高齢者が安心して暮らすことができるよう、もやいネットセンターを設置し、平成28年1月からは高齢者をはじめ、子供、障害者、生活困窮者などの福祉総合相談窓口として、地域で共に支え合い、見守る体制の充実を図っている。そこで、以下を問う。

ア 相談件数は。

イ もやいネットセンターの体制は。

ウ 周南市社会福祉協議会等の関係団体との連携は。

#### 3 離島振興について

(1) 令和5年度から令和14年度までの大津島離島振興計画が策定された。記載されている主要課題に対する具体的な対策等について、以下を問う。

ア 人口減少と高齢化についての対策は。

イ 集落機能・自治機能の低下についての対策は。

ウ 生活環境の悪化についての対策は。

エ 身近な生活サービスの維持・確保についての対策は。

#### 4 選挙の投票率向上に向けた取組について

(1) 本年4月、周南市長選挙及び周南市議会議員補欠選挙が行われた。投票率は、34.11%及び34.09%であり、いずれも過去最低を記録した。近年、投票率の低下が課題となっている。そこで、以下を問う。

ア 選挙公報は候補者の考えを確実に伝えるツールであると考えるが、配布方法はどうか。

イ 本市では、投票率向上に向けた予算は僅かである。現在、どのような取組を行っているのか。

#### 5 障害者支援について

- (1) 現在、身体障害者手帳及び療育手帳をお持ちの方に関しては自動車運転免許の取得に向けた市の助成金があるが、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方に対してもこの助成金を適用すべきではないか。

## 6 ドローンの運用拡充について

- (1) 近年、ドローンを導入し活用している地方自治体が増えた。我が市でも建設部道路課で1台を所有していると聞く。そこで、以下を問う。
- ア 現在所有するドローンの活用状況は。
- イ 他市の先進事例に倣い、防災・災害復旧に主眼を置いて活用範囲や運用体制を見直し、積極的に利活用・拡充すべきと考えるがどうか。

## 7 コロナ禍において、減退が危惧される地域力の再生について

- (1) 近年の少子高齢化の加速と相まって、コロナ禍の3年間で地域のコミュニティー力が大きく減退したと感じる。新しい形での創造も模索しつつ、今後のコミュニティー力の在り方について、地域だけでなく行政としても考え、取り組むべきときとを感じるが、いかがか。

## 8 不登校支援について

- (1) 不登校児童生徒の現状と対応は。
- (2) 不登校支援について、以下を問う。
- ア ICTを活用した学習指導は。
- イ フリースクールへ通所する方への支援は。
- ウ 出席認定は、どのように行っているのか。

---

## 2 周南市民の会

### 1 所信表明に対する質問

### 2 補正予算に対する質問

#### 1 一般会計 農林水産業費 農業費 道の駅費 道の駅リニューアル事業費

- (1) 道の駅リニューアルのためにどのような調査を行っていくのか。

#### 2 一般会計 債務負担行為 統合型校務支援システム共同利用使用料

- (1) 統合型校務支援システムとは、どのようなものか。
- (2) どのようなシステムを構築していくのか。教職員の働き方改革につながるものなのか。

### 3 一般質問

#### 1 周南公立大学について

- (1) 開学2年目を迎えた周南公立大学について、以下を問う。

- ア 周南公立大学の存在意義とは。
- イ 開学1年目の状況は。
- ウ 近年の卒業生の就職状況は。
- エ 近年の受験者の傾向と入学者の状況は。
- オ 現在建設中の新校舎の進捗状況は。

- (2) 新学部学科について、以下を問う。

- ア 設置認可申請中の新学部学科の設置目的は。
- イ 今後、さらに別の学科を新設する予定はあるのか。

## 2 学校給食について

- (1) 現在の給食時間は、コロナ禍前の状態に戻りつつあるのか。
- (2) 本市の学校給食の特色は。
- (3) 今後の学校給食費の在り方について、これからどのような手順で検討していくのか。

## 3 市有財産の現状と今後の取組について

- (1) 合併から20年が経過した本市の市有財産の現状と今後の対策について、以下を問う。
  - ア 旧徳山市時代の市有財産と比較して、合併後にどれくらい増えたのか。
  - イ 旧教職員住宅や市営住宅などで、解体が必要な施設はどれくらいあるのか。また、そのままとなっているコミュニティ・プラントや簡易水道施設はどれくらいあるのか。
  - ウ 熊毛地域の大規模団地開発により、市の管理となっている法面、児童遊園、近隣住民が使用している残地等について、問題点はないか。

## 4 JR徳山駅に停車する新幹線のぞみ号の増便について

- (1) 令和5年3月定例会の会派質問で、令和5年3月18日からJR徳山駅に停車する新幹線のぞみ号の本数が従前の15本から9本に減便になることで、本市に大きな影響が出るのではと質問した。その際、市長から、「増便についてJRと県の両方をお願いしていきたい。議会にも協力をお願いしたい。」との答弁があり、議会として、「JR徳山駅への新幹線のぞみ号停車本数の増便を求める」要望決議を全会一致で可決したが、その後、市職員の人事異動や市長選挙等があったため、速やかな対応をしているのか気になるところである。このことについて、現状を問う。

## 5 中山間地域の医療について

- (1) 昨年6月定例会の一般質問で、移動診療車の運用等を取り上げ、1年が経過したが、その後の進捗状況はどうか。
- (2) 和田地区が無医地区になって今年で7年目となるが、昨年の市長の答弁では、「新たな公設診療所を開設する計画はないが、診療所開設に代わる新たな医療体制を検討している。」とのことであった。その後1年が経過したが、検討結果はどうか。
- (3) 無医地区やコミュニティ交通のない地域の高齢者バス・タクシー運賃助成事業の運用拡充を図ることはできないか。

## 6 一般廃棄物（ごみ）の収集体制について

- (1) 一般家庭から排出されるごみの収集、運搬、処理は、市において実施され、収集方法はステーション方式で実施されている。住民は一般廃棄物の収集、運搬及び処理に協力しなければならないとされており、自治会におけるごみ問題のリーダーとして本市においてはクリーンリーダーが位置づけられている。高齢化や核家族化の進行等に伴い、高齢者のみの世帯が増加するにつれて、家庭からのごみ出しに課題を抱える事例も増加しており、こうした傾向は今後数十年にわたり続くものと見込まれている。また、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課が、高齢者のごみ出し支援制度導入の手引きの中で「全国の地方自治体において、従来の廃棄物処理体制から高齢化社会に対応し

た廃棄物処理体制へとシフトしていく必要性が生じている。」と記している。本市の実情を踏まえ、以下の点について問う。

ア 高齢者のごみ出し支援制度には、地方公共団体が個別に回収する方法と、回収業務を委託する方法など、直接的に高齢者世帯のごみ出しを支援する制度と、地方公共団体が、自治会やNPOなど地域の支援団体等へ補助金を交付し、支援団体が行う高齢者世帯のごみ出し支援を後押しする制度などがあるが、高齢者ごみ出し支援制度の導入について、本市では検討をしているのか。

イ 超高齢社会に対応したごみ出し支援には、福祉部門との連携が必要ともされているが、福祉施策としてはどういった対応が考えられるか。

ウ クリーンリーダーの活動として、ごみステーションの維持管理があるが、取り残しごみへの対応はどのようになっているのか。

エ ごみ収集作業における道路上の安全確保のための基準や、収集車が通行可能とされる道路の基準はあるのか。

オ 道路が狭く収集車が入れないため集積場所を自宅近くに設けられず、自宅から遠くのステーションに持ち込まなくてはならない地域の住民に対し、軽四輪でごみを収集するなどの検討ができないか。

## 7 市民の安心安全・生命・財産をいかに守るかについて

- (1) 全国屈指のコンビナートを有する我が市は、他方、最も危険な地域と言えなくもない。具体的な防災対策は。
- (2) 防災面から、かねてシェルターとしての栄谷トンネルの必要性、市民への炊き出しにもかなう職員食堂の設置、避難先や町なかキャンパスを兼ねる小ホール建設並びに防災道の駅の機能拡充等を訴えてきたが、現在の進捗状況と市長としての決意は。

## 8 新斎場について

- (1) 新斎場について今後の在り方を問う。

---

## 3 自由民主党周南

### 1 所信表明に対する質問

### 2 補正予算に対する質問

#### 1 一般会計 国庫支出金 国庫補助金 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金について、本補正予算における活用方針は。

### 3 一般質問

#### 1 物価高騰に係る生活困窮世帯への支援について

- (1) 令和4年第4回臨時会に提案された補正予算の中で、住民税均等割のみ課税世帯への5万円の給付はすばらしい支援であったとの声が多くあったように思う。今年度も同様の支援を検討できないか。

#### 2 農業振興と食の安全について

- (1) 本年9月から、国への地方自治体の申請により、企業の農地取得が可能になるが、これに対する本市の対応は。

(2) 県産小麦として、本市を含む県東部を中心に「にしのやわら」の作付を増やす動きが徐々に広がりつつある。官民一体となった取組を進め、新たなブランド力の強化と地産地消の推進につなげることを期待するがどうか。

(3) 近年における六次産業化の具体的な取組は。

(4) 山口県は、「せときらら」などを使用した100%県産小麦による給食パンを提供しており、大変意義深い取組と受け止めている。さらなる地産地消推進の動きと連動することで、子供たちへの安全な食の提供につながることを大いに期待するが、今後の学校給食の方針を問う。

### 3 防災対策について

(1) 本年5月29日に、本市における地震発生時の災害対策本部体制（非常体制）の基準が見直され、今までの体制基準では、震度5弱以上の揺れが発生したときであった。このたび、震度5強以上の揺れが発生したときに改正されたが、市民の安全を確保できるのか。

(2) 全国で地震が頻発している中で、市民に対する啓発活動は考えているか。

### 4 自治会活動支援について

(1) 自治会清掃活動で生活環境に支障を来す竹を伐採しているが、その処理に困っている。手軽な竹粉碎機を市からレンタルできないか。

### 5 少子化対策について

(1) 不妊治療費助成制度について、男女別の助成実績はどうか。

### 6 2050年を乗り越えられる周南市について

(1) 今後の人口減少対策について、どのように取り組んでいくのか。

(2) 子供・子育て支援の推進・拡充について、どのように取り組んでいくのか。

(3) 地域産業の振興に向けた取組について、どのように取り組んでいくのか。

(4) 耕作放棄地について、どのように取り組んでいくのか。

(5) 空き家対策について、どのように取り組んでいくのか。

### 7 地域住民によって維持管理されている施設について

(1) 公園、グラウンド、またそれらと一体となっている施設（法定外公共物）が挙げられるが、市としてどのように把握しているか。

(2) 維持管理が困難となってきている施設について、今後どのように取り組んでいくのか。考え方を問う。

### 8 周南市誕生20周年記念事業について

(1) 具体的な事業内容とスケジュールは。

---

## 4 参輝会

### 1 所信表明に対する質問

### 2 補正予算に対する質問

1 一般会計 商工費 商工費 観光費 新型コロナウイルス対策費（市内宿泊特典クーポン発行）

(1) 市内宿泊特典クーポンについて、以下を問う。

ア 過去に同様の事業を行った際の実績は。

イ なぜ1人1回当たり2,000円分のクーポン発行としたのか。

### 3 一般質問

#### 1 選挙の投票率向上の取組について

(1) 投票率の低迷をどう受け止めているか。

(2) 本年4月執行の統一地方選挙等に当たり、どのような取組をしたのか。

(3) 若者の投票率の低さが際立つ。さらなる周知啓発が必要ではないか。

(4) 様々な取組をしても投票率は向上していない。今後の展開は。

#### 2 異次元の少子化対策について

(1) 国においては、令和5年6月1日に、次元の異なる少子化対策実現のための「こども未来戦略会議」が開催され、保育所の利用要件を緩和する新たな制度として「こども誰でも通園制度（仮称）」を令和8年度から全国で実施すると打ち出された。この制度は、子育て世代の多くが「孤立した育児」の中で不安や悩みを抱えており、支援の強化を求める意見があることから、全ての子供の育ちを応援し、全ての子育て家庭への支援を強化することが目的とされている。そこで、以下を問う。

ア 保育士の業務に関して、人手不足や業務負担、保育士の質の向上、処遇改善といった課題の解決に向けてどのような対策を講じているか。また、保育周辺業務を行う保育支援者の雇用や保育業務のICT化、看護師等の専門職の配置状況はどうか。

イ 保育園は、子供の大切な命を預かっている。その大切な子供一人一人の健やかな成長を丁寧に見守っている保育現場の方々には必死である。保育園・幼稚園に預けることができるから保護者は安心して働くことができる。安心して預けられるよう保育園・幼稚園の現場の見直しを進め、「こども未来戦略会議」で示された新たな取組へつなげていくべきと考えるがいかがか。

ウ 現役の子育て世代だけでなく、将来の子育て世代にも支援が必要と考える。本市独自の考えについて、高校生・専門学校生・大学生への支援など、今の学生たちが感じている不安を払拭することは、将来彼らが子供を持つかどうかにつながってくると考えるが、本市独自の支援策について考えてみてはどうか。

(2) 本市は政府のこども家庭庁創設に先んじてこども局、こども・子育て相談センターを設けるなど、育児相談等の子育てサービスには先進的な取組がされており、利用者には好評と聞いている。施策のPRも大切であるが、本市の存在意義を考える上で最大の課題である人口減少対策につながる効果に広がりのある施策が必要と考え、以下を問う。

ア 「周南市こどもまんなか宣言」を発表し、今後の施策展開が期待される。6月13日に総理から新たな少子化対策が発表されたが、地域間競争は一層際立ってくるのではないか。掛け声だけでなく関係部署の連携が求められるが、本市はどう変わるのか市民に伝えることが重要と考え、以下を問う。

(イ) 本市の人口減少対策、定住対策には何か魅力的なものはあるか。また、何が足りないのか。

- (イ) 子供はもちろん、子育て世代への分かりやすい周南市民への特典を示すべきと考えるがどうか。
- イ 若者や若いカップルが、「周南市に住もう」「周南市で子育てしよう」と思うきっかけになる施策の束が必要と考え、以下を問う。
  - (ア) 周南市の家賃、公共料金等は他市に比べてどうか。負担を減らすための支援は検討できないか。
  - (イ) 広い本市には、屋内施設も含め地域拠点の各地に、ある程度の規模の、安全な遊具がある子供の遊び場が必要と考えるがどうか。

### 3 「日常をときほぐす観光」の活性化につながる資料展示について

- (1) 鹿野図書館の2階にある鹿野民俗資料展示室は、現状、訪れる人は少ない。コロナ禍から日常を取り戻しつつあり、漢陽寺庭園が国の登録記念物に登録された今、関係部署が連携して鹿野民俗資料展示室の展示を見直し、鹿野地域の観光の要所及び観光ボランティアガイドの案内起点になるように整備することで、観光交流の活性化につなげることはできないか。
- (2) 来年度には鹿野総合支所が移転するが、旧議会などの行政資料を、分散している歴史・民俗資料等と集約し、遊休施設で展示してはどうか。

### 4 教育行政について

- (1) 体力向上の取組について、以下を問う。
  - ア 本年1月に策定された県のやまぐち体力向上維新プロジェクトの中に、「おうちで運動」という項目があるが、本市の取組状況は。
  - イ 中学校の体育授業等、実際に運動活動する時間は十分に確保されているか。
- (2) 小中学校における宿題の多さが、子供たちの負担になっていないか。
- (3) 学校行事に多くの時間が割かれてはいないか。

### 5 アフターコロナにおける行政運営について

- (1) コロナ禍で苦しんだ地域経済に対して、対応はあるのか。
- (2) コロナ禍で苦しんだ市民に対して、特に、通常の成人式ができなかった世代に対して、寄り添う姿勢はあるのか。

### 6 ハラスメントについて

- (1) 市役所内におけるハラスメント対策は。
- (2) 市職員に対するカスタマーハラスメント対策は。

---

## 5 公明党

### 1 所信表明に対する質問

#### 2 一般質問

##### 1 窓口サービスの向上について

- (1) 障害のある方や、高齢等により会話が困難な方など、話し言葉によるコミュニケーションが難しい市民との意思疎通を図るため、絵や文字を指さして使用するコミュニケーションボードを活用してはどうか。

## 2 「ミライロID」の導入について

- (1) 障害者手帳をスマートフォンに無料で登録できるアプリ「ミライロID」の導入に向けた検討の状況は。

## 3 周南市手話言語条例について

- (1) 手話はいのち！周南市手話言語条例が令和2年9月に制定された。第6条に掲げられた施策の推進について、進捗状況は。

## 4 デフリンピック開催を契機とした聴覚障害者理解の促進について

- (1) 令和7年に日本で初めてデフリンピックが開催される。このことに関連して、以下を問う。
  - ア 聴覚障害者への理解を促進するため、デフリンピックの開催について市民に周知してはどうか。
  - イ ホストタウンとなるよう取り組んではどうか。

## 5 自転車の安全で適正な利用の促進について

- (1) 本市では令和4年4月に自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例がいち早く施行された。自転車事故のない社会を目指し、どのような取組を展開するのか。

## 6 鳥獣被害防止対策について

- (1) 鳥獣被害防止対策について、以下を問う。
  - ア 周南市鳥獣被害防止計画が変更されているが、主な変更内容は。
  - イ 近年、鳥獣が、より身近な住宅地等へ出没する傾向に変わってきていると考えるが、本市ではどのように捉えているのか。
  - ウ 市民の安心安全を守るための、市民に寄り添った鳥獣被害防止対策が必要と考えるが、本市の今後の取組はどうか。

## 7 市営住宅について

- (1) 特定目的住宅（視覚障害者・身体障害者向け）について、以下を問う。
  - ア 現在の入居率は。
  - イ 築年数を踏まえた改修の必要性は。
  - ウ 今後の整備方針は。
- (2) 今後のまちづくりにおける政策的視点として、市営住宅に日用品や雑貨を販売する店舗や飲食店などの入居は検討できないか。
- (3) 周南市公営住宅等長寿命化計画において管理戸数を削減させる方針であるが、今後どのように取り組んでいくのか。

## 8 保育環境の充実について

- (1) 保育対策総合支援事業について、以下を問う。
  - ア 保育に係る周辺業務を行う保育支援者の、公立保育所における配置状況及び私立保育所での雇用実績は。
  - イ 業務のICT化の状況は。
  - ウ 現場での新たな業務ニーズは。
- (2) 現状や時代背景等を踏まえ、今後の施設の方向性を示すものとして令和3年3月に策

定された周南市保育所・幼稚園・認定こども園施設分類別計画の進捗及び今後の課題について、以下を問う。

- ア 公立新施設の整備の進捗は。
- イ 老朽化した施設への対応は。
- ウ 今後の保育ニーズをどう見込んでいるか。

---

## 6 日本共産党

### 1 所信表明に対する質問

#### 2 一般質問

##### 1 周南市立新南陽市民病院の拡充について

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の非常時に、市民病院は発熱外来をはじめ新型コロナウイルス感染症患者の受入れなど、地域医療の担い手として大きな役割を果たした。本市では病院経営の改革として、周南市立新南陽市民病院新改革プランを策定し経営努力をしているが、地域医療構想における病床削減の問題や、常勤の医師不足が喫緊の課題と考える。市長は選挙公約で新南陽市民病院の拡充を掲げた。拡充とは市民にとってどういうものか。その内容を問う。

##### 2 学校給食費の無償化について

(1) 教育委員会は財源確保と、国や全国の他の自治体の動向を注視しながら研究していきたいと答弁している。学校給食費をめぐることは、自由民主党の茂木敏充幹事長が3月に無償化を目指す考えを明らかにした。政府が示した骨太の方針及びこども未来戦略方針には、学校給食費無償化についてどのようなことが示されたか、把握しているか。その内容は。

(2) 憲法第26条第2項では、「義務教育は、これを無償とする。」とされている。また、実質賃金は、およそ30年間低迷している状況である。昨今の物価・エネルギー高騰等で市民の生活が大変なことを考えると、家庭の負担軽減のため、政府が目玉としている異次元の少子化対策などを踏まえ、政府の指示待ちではなく、自分たちのことは自分たちで決める、この立場に立って、市費での学校給食の無償化について真剣に考えるべきではないか。

##### 3 鹿野地域における生活交通について

(1) 市長は、さきの市長選挙の公約に「住みたくなるまちへ」として、岩徳線や地域の生活交通の確保に努めると述べている。鹿野地域における生活交通について、生活実態に合った取組は考えているか。

##### 4 投票率向上に向けた取組について

(1) 選挙のたびに投票率の低さが話題となるが、有権者が投票しやすい環境を整えるために、本市ではどのような取組をしているか。

##### 5 高齢者バス・タクシー運賃助成事業の拡充について

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、高齢者バス・タクシー運賃助成事業を拡充する考えはあるか。

## 6 周南カーボンニュートラルコンビナート構想について

(1) 周南コンビナートカーボンニュートラルロードマップと周南コンビナート脱炭素推進協議会での協議について、以下を問う。

ア ロードマップでは、エネルギーの脱炭素化のためにアンモニアを使用するとしているが、アンモニアの製造過程でCO<sub>2</sub>が発生することや安定的な輸入量の確保ができるのかという問題についての議論はされているか。

イ 地域再エネ電源による発電について、具体的な構想があるのか。また、地域再エネ電源の普及・活用を進めるために、本市としてどのような取組ができると考えているか。

## 7 自衛官募集事務に係る対象者情報の提供について

(1) 市が自衛官募集事務に協力するという理由で市民の個人情報を自衛隊に提供していることを対象年齢者や保護者に知らせているか。

(2) 市民の個人情報を本人の同意もなく自衛隊に提供することはやめるべきと考えるかどうか。

(3) 当面、情報提供を希望しない市民の情報は自衛隊へ提供する名簿から削除することができるように、除外申請の様式を定め、市ホームページなどでも周知することを求めるかどうか。

## 8 高校生までの医療費の無料化について

(1) 令和2年第5回定例会の一般質問で、こども医療費助成制度について、対象年齢を18歳までとすることを目指すべきではないかと質問した。そのときの市長答弁は、こども医療費助成制度を18歳まで拡充することは子育て支援につながる施策の一つと思うが、実施に当たっては、さらなる財源の確保が必要となり、慎重な対応、検討が必要と考えているというものであった。市長は、本年4月に行われた市長選挙の公約の一つに高校生までの医療費の無料化に取り組むことを掲げた。この公約を掲げた市長の思いや実現に向けての市長の決意を問う。

## 9 パートナーシップ制度の導入について

(1) 同性カップルの権利保障を進めるパートナーシップ条例を制定する自治体が広がっている。パートナーシップ制度とは、制度を導入した自治体の中で、同性カップルにも異性カップルが結婚している場合と同様に一定の権利を認めるもので、公営住宅への入居、緊急時の病院での面会などで、親族同様の扱いを受けることが可能になる。また、性的マイノリティーの方々への理解を広げ、多様性を認め合う、暮らしやすいまちづくりにも資するものとする。本市においても、パートナーシップ制度の導入について、実現を目指すべきではないか。

---

## 7 未来ラボ

### 1 所信表明に対する質問

### 2 補正予算に対する質問

#### 1 一般会計 農林水産業費 農業費 道の駅費 道の駅リニューアル事業費

(1) 道の駅の新たな機能の拡充に向けた調査費が上げられているが、市が前提としている調査項目はどのようなものか。

## **2 一般会計 教育費 保健体育費 学校給食費 学校給食材料費**

### **一般会計 教育費 保健体育費 学校給食費 新型コロナウイルス対策費（学校給食材料費高騰対応分）**

(1) 学校給食費の財源の振替について、基金繰入金減額分と国の交付金増額分との差異は何か。

(2) 学校給食費の物価上昇分とは、どのように算定されているか。

## **3 一般質問**

### **1 周南市ファミリーサポートセンターについて**

(1) 子供の送迎や預かりなどを行う周南市ファミリーサポートセンターについて、以下を問う。

ア 利用件数の推移と依頼内容の内訳は。

イ 依頼会員数と提供会員数の推移は。また、提供会員数に不足感はあるか。

ウ 提供会員確保のために、どのように取り組んでいるか。